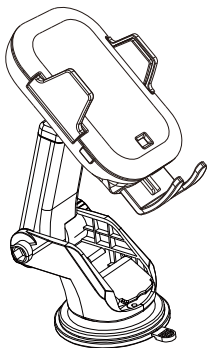


取扱説明書

車載用Qiスマートフォンホルダー



もくじ

ページ

| | |
|-----------------|----|
| 安全上の注意 | 1 |
| 使用上の注意 | 3 |
| 各部の名称 | 4 |
| 商品仕様 | 5 |
| 取付け方 | 5 |
| 使い方 | 7 |
| 充電できない場合 | 9 |
| アームの取り付け方 | 9 |
| お手入れ | 11 |
| 取付位置について | 11 |
| 保証規定 | 12 |



- この度は 車載用Qiスマートフォンホルダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 います。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 特に「安全上の注意」、「使いかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の12ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。
 No service is available outside of Japan.

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

| | |
|--|---|
|  警告 | この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示の欄は、「重症を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。 |

安全にご使用いただくために、下記注意事項を必ずお守りください。

警告

- 本取扱説明書の内容をよくお読みいただき、正しくご使用ください。誤ったご使用をされた際の破損・故障、事故などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねます。
- 絶対に分解・改造しないでください。故障・けがの原因になります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器およびその他の電子機器へ本製品を近づけないでください。
- 本製品の充電エリアの上にQi対応機器以外のものを置かないでください。発熱、発火のおそれがあります。
- 本製品とQi対応機器の間に金属などの異物を挟んだ状態で使用しないでください。金属が発熱し、やけどや発火、本体が変形するおそれがあります。
- 自動車の運転中に本製品および取り付けた機器を操作しないでください。交通事故の原因になりますので、絶対にお止めください。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 運転者の視界および運転操作を妨害する位置、エアバッグの動きを妨害する位置、法的に禁止されている箇所には設置しないでください。
- 本製品や取り付けた機器が確実に固定できているか、緩んでいないかをご確認ください。万が一、脱落した際に運転の妨げや車体の破損、本製品や取り付けた機器の破損、またはケガのおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃や圧力を加えないでください。落下、破損、発火の原因になります。
- 水につけたり濡らさない、また濡れた手で使用しないでください。感電や故障の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、本製品やUSBケーブルに触れないでください。感電の原因になります。
- 火の中に投入したり、加熱しないでください。発火、炸裂の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温になる場所で、使用・保管・放置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

注意

- 対応機器以外の物を本製品に取り付けしないでください。
- 平らな場所にしっかりと固定してください。ぐらつきがある状態で使用しないでください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 不安定な角度で使用しないでください。

⚠ 注意 (続き)

- 可動部に手などを挟まないように注意してください。
- 機器を取り付けたまま車内に放置しないでください。
- 直射日光が当たり続けるなど、本製品や機器が過度に熱せられるような環境下ではご使用にならないでください。吸着力が低下し脱落のおそれがあります。
- 極端に気温が低いなどの使用環境や、材質の劣化で、吸着力が低下することがあります。
- 本製品の取り付け直しは、粘着力が低下し、脱落の原因となりますので、ご注意ください。
- 小さなお子様の手の届かないところで保管してください。
- 悪路を走る際は本製品を使用しないでください。取り付けた機器が落下し、破損するおそれがあります。
- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。
- 充電するQi対応機器の取扱説明書を必ず確認し、注意事項に従ってください。機器の故障や感電の原因になります。
- 充電ケーブルは奥までしっかりと差し込んでください、接触不良により火災や感電、故障の原因になります。
- 充電ケーブル、USBコネクタや車載用充電器の差込みが緩いときは使用しないでください。発火や感電の原因になります。
- 変形してしまったコネクタをご自身で手で戻したとしても、内部は変形したままの状態になっている場合があります、使い続けるとショートのおそれがあります。
- スマートフォンのカバーにキャッシュカードなどの磁気カードを差し込んだまま充電しないでください。カードが使えなくなる可能性があります。
- 充電時以外は充電器やケーブルを外してください。発火や感電の原因となるおそれがあります。
- 充電ケーブルのコネクタに液体や細かいゴミなどの異物が付着した状態で使用しないでください。コネクタがショートして発熱、発煙が発生するおそれがあります。
- ほこりの多い場所に置かないください。火災、感電の原因になります。

ご使用上の注意

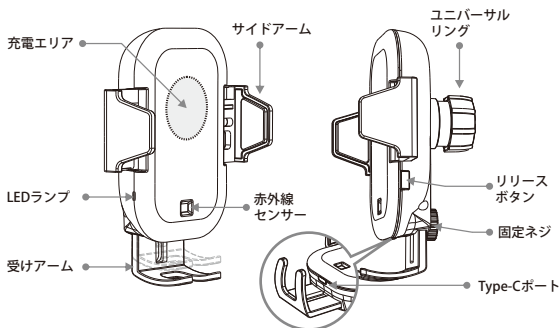
- 本製品は自動車の車内専用です。2輪車や車外ではご使用になれません。
- 運転前に本製品および取り付けた機器がしっかりと固定されているかを毎回必ずご確認ください。
- 取り付け後は、本製品や取り付けた機器に無理な力を加えないようにしてください。脱落や破損、故障の原因となります。
- スマートフォンおよびカバーの形状によっては縦置き、横置きに関わらず、しっかりとホールドできない場合があります。しっかりとホールドできない場合は使用しないでください。
- 取り付け面の素材、シボの深さにより十分な吸盤の吸着力が得られない場合があります。
- 磁気カード、ICカードを本製品の上に置いたり、近づけないでください。記録が消えたり、破損するおそれがあります。
- 本製品を使用中に、お使いの機器のデータやプログラムが消去されても、保証は一切しません。あらかじめご了承ください。

ご使用上の注意 (続き)

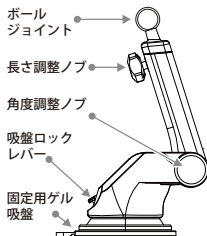
- 本製品の使用に際し、取り付けた機器および自動車が破損した場合について弊社は取り付けた機器、自動車の補償は一切いたしかねます。
- 日光で取り付けた機器が熱くなる場合があります。車内で長時間使用する際はご注意ください。
- 充電ケーブルのコネクターに液体や細かいゴミなどの異物が付着した状態で使用しないでください。コネクターがショートして発熱、発煙が発生するおそれがあります。

各部の名称

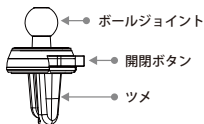
ホルダー



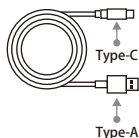
アーム



アタッチメント



Type-C ケーブル(約1m)



商品仕様

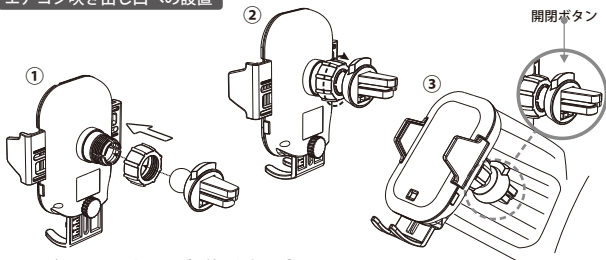
商品向上のため、商品仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

| | |
|--------|---|
| 入力端子 | USB Type-Cポート |
| 入力 | 12V/1.5A [*] 、9V/2A [*] 、5V/2A |
| 出力 | 9V/1.67A、9V/1.12A、9V/0.83A、5V/1A 15W、10W、7.5W、5W |
| 充電対応機器 | Qi規格準拠品 |
| 対応 | 幅50~85mm、厚み12mm以内 |
| 耐荷重 | 500g |
| サイズ | 幅69.8 × 奥行65.9 × 高さ110.0mm |
| 質量 | 約125g |
| 認証規格 | Qi |
| 付属品 | ホルダー、アーム、アタッチメント Type-C ケーブル(約1m) |

※ QC2.0/3.0またはPD対応(18W以上)の充電器を使用の場合

取り付け方

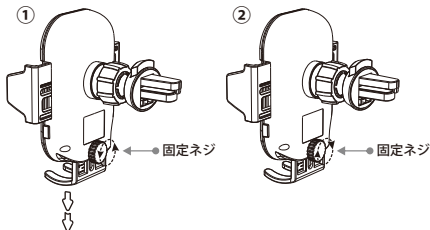
エアコン吹き出し口への設置



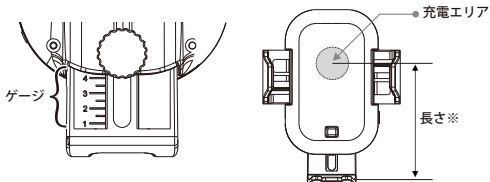
- ユニバーサルヘッドのリングを外します。(図①)
 - 外したリングをアタッチメントのボールジョイントにかぶせます。(図②)
 - ボールジョイントをホルダー背面に差し込み、リングを締めます。(図③)
 - 取り付けるエアコン吹き出し口のホコリや汚れをきれいにふき取ってください。
 - アタッチメントの開閉ボタンを押すとツメが開きますので、エアコン吹き出し口に挟み込んで固定します。(図③)
- しっかり固定されたかを確認してください。
 - 一部エアコン吹き出し口の形状によっては取付けできない場合があります。

取り付け方 (続き)

受けアームの設定



1. 背面の固定ネジを時計と反対方向に回して緩めます。(図①)
 2. セットするスマートフォンに合わせて受けアームの位置を決めて、固定ネジを時計方向に回して締めます。(図②)
- スマートフォンの中央部(充電コイルがある部分)が本製品の充電エリアに触れる位置に設置してください。
 - 受けアームの背面にゲージがついていますので、以下の目安を参考に受けアームの長さを調整してください。



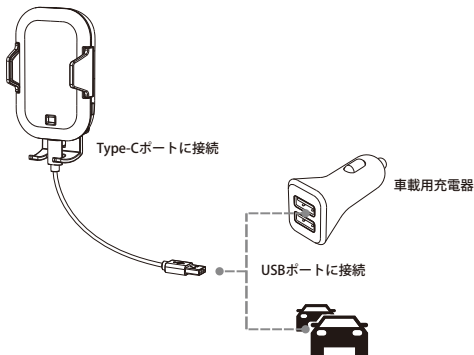
【参考例】

| ゲージ | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
|------|----------------|---------------|--------------------|---------------|-----------------|-------------------|
| 長さ※ | 68mm | 70mm | 75mm | 80mm | | |
| 対応機種 | iPhone 12 mini | iPhone 8 | Galaxy S6 Edge | iPhone XS Max | Galaxy S6 Edge+ | iPhone 11 Pro Max |
| | NEXUS 5 | iPhone 8 Plus | Galaxy S7 | iPhone XR | Galaxy S7 Edge | iPhone 12 Pro Max |
| | NEXUS 6 | iPhone X | Galaxy S10e | iPhone 11 | Galaxy S8 | Galaxy S8+ |
| | | iPhone XS | Xperia XZ | iPhone 12 Pro | Galaxy S9 | Galaxy S9+ |
| | | iPhone 11 Pro | Xperia XZ2 Premium | | Galaxy S10+ | Galaxy S10 |
| | | iPhone 12 | Xperia XZ3 | | Galaxy S20 | Galaxy S20+ |

使い方

ケーブルの接続

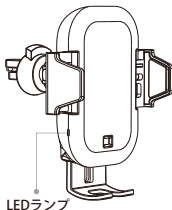
1. 付属のType-Cケーブルを本体のType-Cポートに接続します。
 2. 反対側のType-Aプラグを車に搭載されたUSBポート、またはシガーソケットに接続した車載用充電器(別売り)のUSBポートに差し込みます。
 3. 接続が完了するとLEDランプが赤に点灯し、待機状態になります。
- 車載用充電器は定格5V-2A以上のものをお使いください。
 - 7.5W以上の急速充電をご利用になりたい場合は、PD対応(18W以上)またはQC2.0/3.0充電器をご使用ください。
 - PD対応充電器をご使用の場合は、付属のケーブルではなく、PD対応のType-C - Type-Cケーブル(別売)が必要になります。



LED ランプ表示

LEDランプは状態によって以下のように変化します。

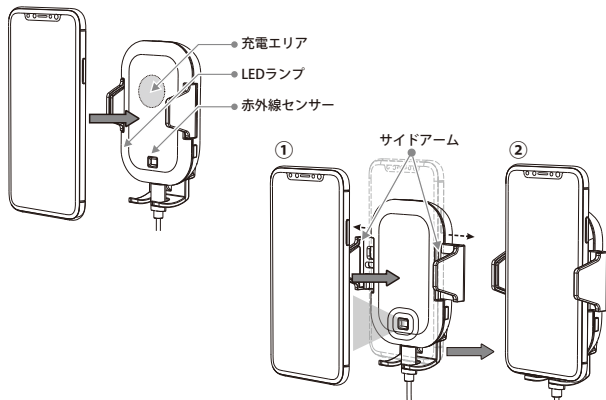
| 状態 | LEDランプ |
|----------|--------|
| 待機 | 赤点灯 |
| ワイヤレス充電中 | 青点灯 |
| 満充電 | 消灯 |
| 異常発生 | 赤青点滅 |
| 温度保護 | 赤青点滅 |
| 異物検知 | 赤青点滅 |



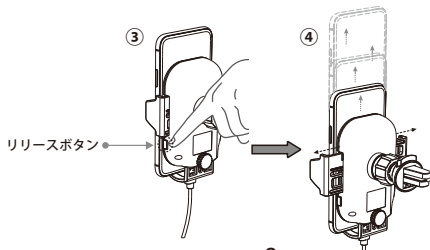
使い方 (続き)

ワイヤレス充電

1. スマートフォンを近づけると赤外線センサーが反応して、サイドアームが自動的に開きます。(図①)
 2. スマートフォンを充電エリアに置くと、約2秒後に自動的にサイドアームが閉じます。(図②)
 3. LEDランプが青に点灯し、充電がスタートします。
- スマートフォンが満充電になると、LEDランプが消灯します。



4. スマートフォンを取り出す際はリリースボタンを押すと、サイドアームが開きます。(図③)
5. スマートフォンを取り出すと、サイドアームが自動的に閉じます。(図④)



使い方 (続き)

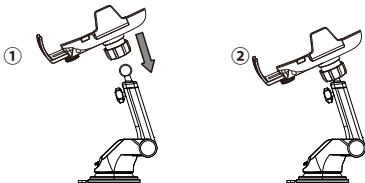
- サイドアームの開閉時に指などを挟まないようご注意ください。
- 車の故障などで電源が断たれた場合も、セットしたスマートフォンを取り出せるように、コンデンサーが内蔵されています。これによって、電源が切れてからも4~5分以内はリリースボタンを押すことでサイドアームが約4~5回開閉します。

充電できない場合

- スマートフォンケースの厚み、材質によっては正しく充電できない場合があります。その場合は、スマートフォンケースを外してから充電してください。
- 充電する機器がQi規格準拠品かを確認してください。ただし、すべてのQi準拠機器との互換性を保証するものではありません。
- 車載用充電器は定格5V-2A以上のものをお使いください。5V-2A未満だと正常に充電できない場合があります。
- 7.5W以上の急速充電をご利用になりたい場合は、PD対応(18W以上)またはQC2.0/3.0充電器をご使用ください。
- 車の標準装備USBポートは出力が不足する場合があります。標準装備のUSBポートの出力仕様に関しては、車メーカーにお問い合わせください。
- iPhoneはiPhone 8以上でないといワイヤレス充電に対応していません。
- スマートフォンの種類によっては、充電開始までに1分ほど時間がかかる場合があります。
- ケーブルに損傷がないか、しっかり挿入されているかを確認してください。
- 充電機器と本製品の充電エリアがずれていると充電できません。充電機器の位置を上下に移動させて充電できる位置を探してください。
- 本製品と充電機器の間に異物がある場合は取り除いてください。
- 近くにテレビ塔、発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など強い電波やノイズの発生する場所があると、充電できない場合があります。
- 近くで電波式ワイヤレスリモコンを使用していると、充電できない場合があります。

アームの取り付け方

組み立て

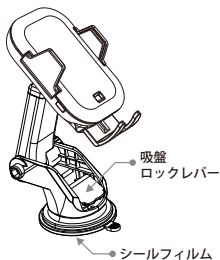
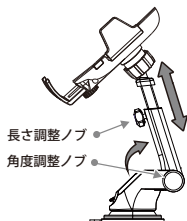


1. ユニバーサルヘッドのリングを外します。
2. 外したリングをアームのボールジョイントにかぶせます。(図①)
3. ボールジョイントをホルダー背面に差し込み、リングを締めます。(図②)

アームの取り付け方 (続き)

設置

1. 角度調整ノブを緩めて、アームの角度をお好みに調整します。角度が決まったら、ノブを閉めて固定します。
 2. 長さ調整ノブを緩めて、アームの長さを調整します。長さが決まったら、ノブを閉めて固定します。
- 角度、長さを調整したら、しっかりとノブを閉めてください。
 - 可動部に指などを挟まないようご注意ください。

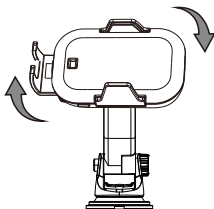
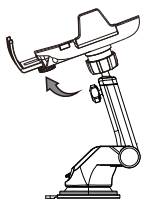
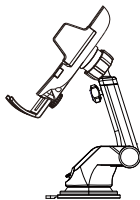


3. 底面のシールフィルムを外して、取付場所に貼り付けます。貼り付ける前に必ず、設置面の汚れを取り除いてください。
 4. 設置場所に吸盤をよく押し当ててから、吸盤ロックレバーを押して、しっかりと固定します。
- 平らな場所にしっかりと固定して、ぐらつきがないかを確認してください。吸盤がしっかりと密着していないと使用中に外れるおそれがあります。
 - 粘着シールの貼り直しは、粘着力が低下し、脱落の原因となりますので、なるべく行わないでください。

ホルダーの調整

ホルダーの角度と向きはお好みで調整することができます。

- ホルダーの向きは360° 調整することができます。
- 必要に応じて、アームの角度や長さを調整してください。



- 不安定な角度では使用しないでください。無理な角度で使用すると脱落や転倒のおそれがあります。
- しっかりと固定して、ぐらつきがないかを確認してください。

お手入れ

- お手入れの際は必ずケーブルを外してください。
- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶液・洗剤を使用しないでください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けん水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布でふき取ってください。

取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合した位置に取り付けることが義務付けられています。前方視界を妨げないように取り付けてください。

■対象車種

- ①専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
- ②車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡などを用いず直接視認できること。

※左ハンドルの場合は左右逆となる。

